

石川県成長戦略(仮称)骨子案の概要

1. 策定にあたっての基本的な考え方
2. 骨子案の体系

1. 策定にあたっての基本的な考え方

背景

石川県では、長期構想に基づき「個性・交流・安心のふるさとづくり」を着実に進め、個性、魅力、基盤を磨き上げてきたが、長期構想の策定以降、DXやGXといった社会に大きな影響を与える新たな時代の潮流が生まれている

<石川の強みである個性、魅力、基盤>

【産業】

規模は小さくとも特定分野で世界に誇る企業

【農林】

「百万石の極み」などの特色ある農林水産物

【文化】

歴史と伝統に育まれた質の高い文化資源

【観光】

文化・自然などの豊富で魅力ある観光資源

【交流基盤】

北陸新幹線や、小松・のと里山空港、南北に長い県土を結び、隣県とつながる道路ネットワーク

【教育】

全国トップクラスの教育水準、地域に根ざしたふるさと教育、高等教育機関の集積

【生活】

待機児童ゼロなどの働きながら子育てしやすい環境

【環境】

「能登の里山里海」、「霊峰白山」などの豊かな自然環境

<新たな時代の潮流>

DXの推進

新型コロナウイルス感染症を背景に、社会のデジタル化が急速に進み、これまでの働き方に変化を与えるとともに、人々の生活様式や価値観が多様化

GXの推進

- ・カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進
- ・脱炭素化を経済成長の制約やコストとする時代から成長の機会と捉える時代に突入

方向性

石川の個性、魅力、基盤を継承し、さらに発展させるとともに、新たな時代の潮流に的確に対応し、**住みやすく、働きやすい、活力あふれる、幸福度日本一の石川県**を目指す

＜住みやすい石川県＞

- ・激甚化・頻発化する自然災害から**県民の生命・財産が守られ、安心して子育てができ、生きがいを感じながら、健康に長生き**できる社会
- ・石川の豊かな**自然と人との共生**が図られ、未来へとつながる**持続可能な社会**

防災 防犯 基盤整備
医療 健康・福祉
子育て 人権 環境

＜働きやすい石川県＞

- ・新型コロナウイルス感染症や、デジタル技術の進展などによりビジネス環境や県民の生活様式・価値観が変化する中、**所得だけでなく、多様な価値観が尊重**される社会
- ・女性や高齢者、障害者など、**誰もが働きやすい社会**

産業
農林水産業
女性活躍
インクルーシブ社会

＜活力あふれる石川県＞

- ・文化、観光資源など個性、魅力、基盤を継承しつつ、時代の潮流を捉えて**新たな価値の創造に挑戦**でき、それらを活かし、**国内外や地域間で活発な交流**が図られる社会
- ・DXやGXなど**新たな時代の潮流にも柔軟に対応できる人材が育成**され、積極的に挑戦できる社会

文化 スポーツ
観光 地域振興
人づくり

<視点>

石川県がさらなる飛躍を遂げ、幸福度日本一を実現するため、

- ・あらゆる分野において、時代の潮流を捉え、積極果敢に挑戦していくことで、個性・魅力・基盤をさらなる高みへと押し上げ、**石川の新たな価値を創り出していく**ことが重要(視点1)
- ・そのために、土台となる**県民の安全・安心が守られ、健やかに暮らせる社会をつくり上げていく**必要(視点2)

視点1

石川の新たな価値の創造

視点2

県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

<戦略>

上記の2つの視点に基づき、県政の諸課題に果敢に取り組むための6つの戦略と、新たな時代の潮流を的確に捉え、飛躍するための2つの横断的な戦略を設ける

戦略

- 1 **新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり** (産業づくり部会)
- 2 **収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり** (持続可能部会)
- 3 **個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり** (個性豊か部会)
- 4 **石川の未来を切り拓く人づくり** (温もり部会)
- 5 **温もりのある社会づくり** (温もり部会)
- 6 **安全・安心かつ持続可能な地域づくり** (安全・安心部会)
(持続可能部会)

横断的戦略

- 1 **デジタル化の推進**
- 2 **カーボンニュートラルの推進**

2. 骨子案の体系

基本
目標

『幸福度日本一に向けた石川の未来の創造』
～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川の実現～

視 点

1 石川の新たな価値の創造

2 県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

戦 略

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

4 石川の未来を切り拓く人づくり

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

5 温もりのある社会づくり

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

横断的
戦略

1 デジタル化の推進

2 カーボンニュートラルの推進

戦略を実行するための前提・仕組み

- ・KPIの設定 (進捗管理、施策の評価)
- ・オール石川での推進体制 (市町や民間など多様な主体との連携)
- ・効率的・効果的な行財政運営

計画期間

10年 (R5～R14年度)

※策定から5年後を目途に中間
評価を行い、必要に応じて見直す

<各戦略に連なる施策>

戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

- (1) 産業のDX推進
- (2) 産業のGX推進
- (3) 産業を支える人材の確保・育成
- (4) 新事業・新産業の創出
- (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
- (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- (7) 企業等の戦略的誘致の推進

戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

- (1) 農業生産構造の強化
- (2) 農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進
- (3) 持続可能な農業・畜産の体制づくり
- (4) 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- (5) 持続性のある水産業の実現

戦略3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

- (1) 個性と厚みのある文化の創造と発展
- (2) スポーツを通じた活力の創造
- (3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- (4) 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
- (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- (6) 個性豊かな地域づくり
- (7) 世界に開かれた国際交流の推進

戦略4 石川の未来を切り拓く人づくり

- (1) 次世代を担う人材の育成
- (2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- (3) 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

戦略5 温もりのある社会づくり

- (1) 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- (2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- (3) 全ての県民への必要な医療の提供
- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり
- (5) 男女が共に活躍できる社会の実現

戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- (1) 災害に負けない強靱な県土づくり
- (2) 安心して快適に暮らせる地域づくり
- (3) 持続可能な循環型社会づくり
- (4) 自然と人とが共生できる社会づくり

横断的戦略1 デジタル化の推進

- (1) 社会全体のDXの推進
- (2) 行政のDXの推進
- (3) DXに向けた環境整備

横断的戦略2 カーボンニュートラルの推進

- (1) 2050年カーボンニュートラルの実現
- (2) エネルギー構造の転換への対応